

職業を通じてつながりを考える

冷え込む季節になっています。インフルエンザも体調を秋から冬にかけて流行する傾向にあるため、今後、感染拡大する恐れがあります。手洗いや咳エチケットなどの基本的な感染対策を心がけましょう。体調管理にはくれぐれも注意しましょう。

先週は、2年生の職場体験学習が行われました。お疲れ様でした。二日間、初めてのことばかりで、心配や不安、とまどいや緊張もあったことだと思います。ルールやマナー、また職場の方々の指示や説明をよく聞いて、最後まで、よくがんばりました。みなさんの二日間の体験を通して、学んだこと、気づいたことはたくさんあると思います。お世話になった方々に感謝しながら、しっかりと振り返り、二日間の学びと成長を、これから家庭生活、学校生活そして社会生活に生かしていってください。

前回、放送での全校集会で、職業の要素についてお話をしました。一つ目は、「暮らしていくため・生計を立てるため」です。二つ目は「社会に役立つため・社会に貢献していくため」です。三つ目は「夢や理想を実現するために、自分の能力や才能を生かすため」です。

この中で、今日は、「社会に役立つ」ことについて考えたいと思います。社会は人々の集まりです。社会に役立つということは、同時に様々な人々のために役立つということです。あらゆる職業、また仕事は、人々の暮らしや幸せにつながり、役立っています。

先日の1年生の職業講話の中でも、ある専門家の方が、働くことのやりがいや喜びについて「ありがとうございます」とおっしゃっていました。自分の仕事が、「人々に役立っている」「感謝されている」という実感が、仕事のやりがいにつながっているのでしょうか。

厚生労働省が定めている職業分類によると、日本にある職種の数は、約1万8,000種類以上あるそうです。職業に就くことや仕事をするということは、つながりを大切にしていくことであり、新たなつながりを創り出していくことだと思います。職業や仕事の先には、多くの人々がいます。人々が豊かにつながりあうことで、社会はよりよくなっています。

11月23日は勤労感謝の日です。職業や仕事について、あらためて考える機会にしてください。

※全校集会での講話の内容に加筆・修正しています。